

赤い屋根まごころ基金会計報告 2025年度(2025年4月～2026年3月)

【前年度繰越金】	(単位：円) 12,221,051 (遺贈寄付金 2,843,400)
【収入】 寄付金 96件	7,893,700
【支出】	
ボランティア活動費	434,983
市民公開イベント費	18,868
患者会運営費	100,406
車椅子	319,600
図書費(外来待合・医療情報の庭・入院患者図書室)	35,983
病棟用備品	184,600
赤い屋根まごころ基金報告書印刷、 銘板作成費ほか	228,890
(小計)	1,323,330
遺贈寄付金支出	956,360
(小計)	956,360
合計	2,279,690

【翌年度繰越金】 18,791,421
(遺贈寄付金 1,887,040)

※遺贈寄付金：寄付者のご希望により用途が決まっています

＊ご寄付いただいた方＊

ご氏名の掲載は、承諾をいただいた方のみです(敬称略)

赤松勝一郎	木村 茂巳	都築 雅年	松岡 静子
糸島 早苗	小泉 穂高	豊永 純雄	丸山 尚己
井上小緒里	小谷 雄亮	中新 幸恵	水本 京子
宇都宮信一	近 藤 俊	二階堂文久	墓川 正芳
太田 隆子	近藤 武志	根本 渉	山本 昇
大塚英一郎	千田 健二	野田 東勝	吉本 光利
川上 豊	高田 薫	原田 英雄	
岸 文子	高林 啓視	原田 雅男	

トーカロ株式会社

株式会社タウン企画商事 長山和博

横浜幸銀信用組合 倉敷支店 支店長 藤谷明仁

1 棟 1 階廊下に 2025 年度ご寄付者銘板を掲示しました



【赤い屋根まごころ基金について】

当法人は、創立当初より、地域の皆さまへの社会貢献を目的の第一と考えて医療を行っています。

「赤い屋根まごころ基金」は、2004年12月の設立以来、皆さま方からのご厚志をお受けし、皆さまの病院としての活動をよりよくするために役立たせていただいています。基金の趣旨をご理解のうえ、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

基金の取り扱いについて

1. 「赤い屋根まごころ基金」は、次のようなことに使わせていただきます。



① 地域の皆さまの健康づくり、
病気の予防など。



② 明るく快適な病院環境に
するための整備。



③ 病院で行う臨床研究に
対する支援。



④ 職員の教育研修に
対する支援。



⑤ ボランティア活動に
関する支援。



⑥ ご寄付いただいた方
のご要望事項。

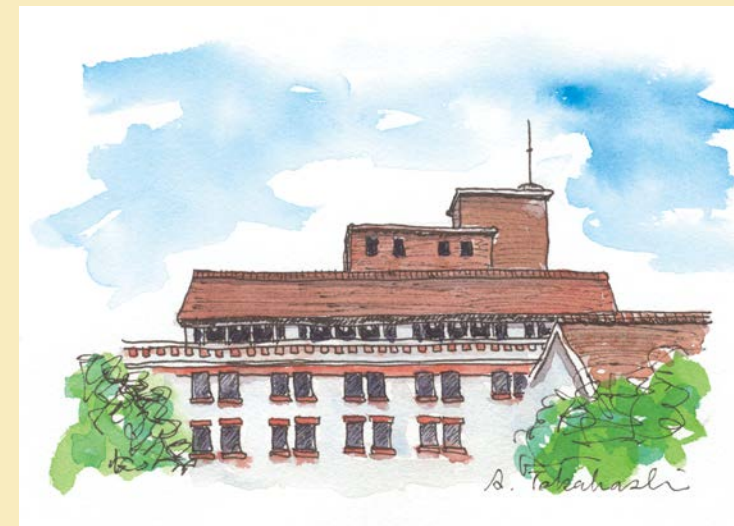
2. 「赤い屋根まごころ基金」は、「基金制度運営委員会」で運営いたします。

3. 「赤い屋根まごころ基金」の活動内容(寄付金の受け入れ・使用状況など)については、ご寄付いただいた方をはじめ、広報いたします。

4. 「赤い屋根まごころ基金」へのご寄付は、「すべての人に平等に」という創立者の精神に基づき、誤解を招きやすい入院予定・入院中の患者さん、ならびにそのご家族からの寄付はご遠慮いただいています。個人の方の当法人へのご寄付については、確定申告により所得税の優遇措置が受けられます。当法人または法人施設のホームページをご覧ください、下記事務局にお問い合わせください。

「赤い屋根まごころ基金」のご案内

基金事務局(086-422-0210 経理課)または入院会計窓口
〒710-8602 倉敷市美和1丁目1番1号
<https://www.kchnet.or.jp/oharahcf/donation/>



赤い屋根まごころ基金

ご厚志を、未来へつなげる



100年前に創立した倉敷中央病院が1927年に独立採算制へ移行してから、当法人は一民間医療機関として補助金や交付金に頼ることなく、収入の9割以上が保険診療による診療報酬を財源としております。

2024年4月から2027年3月までの3か年にわたる「第6次中期経営計画」では、次なる100年に向けて「倉敷中央病院のこれからのありたい姿」を打ち出しました。目指す姿、質の高い医療の実現には、継続した人材の育成や高度な医療機器が不可欠です。しかし、国の医療費抑制政策や、医療の高度化に伴う薬剤や医療機器の価格高騰で病院経営は厳しさを増しています。

地域の医療の質向上のため、誠に恐縮ではございますが、皆さま方にお力添えを賜りたく、お願い申し上げます。



公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構

赤い屋根まごころ基金

ご厚志を、未来へつなげる



Message from Chairman

理事長より皆さまへ

公益財団法人
大原記念倉敷中央医療機構

理事長 浜野 潤

平素は当法人の活動にご理解・ご協力をいただき、まことにありがとうございます。

当法人の長い歴史に培われた伝統を生かしつつ、必要な改革にも取り組む「伝統と革新の両立」が求められています。常に創業の理念に戻りつつ、新たに生じる諸課題に果敢に取り組むことで、地域の皆さまの健康に貢献してまいります。

「赤い屋根まごころ基金」は、皆さま方とともに当法人をより良いものにしていきたい、皆さま方と共に歩み、進化する医療機関でありたいという思いで始めた基金でございます。国の医療費抑制政策や医療の高度化に伴う薬剤、医療機器の価格高騰で厳しい収支状況のなか、当法人が進める社会貢献をより実り多いものとするために大きな力となっています。

基金は専門の委員会で適切に管理・運営し、快適な病院環境整備のためなどに使わせていただいています。2025 年度は、小児科病棟の小児がんの子どもを対象にしたビーズ・オブ・カレッジ® の導入、患者会や患者さん向けイベントの開催支援、ボランティア活動医の支援などに活用させていただきます。

今後とも、皆さま方の基金へのお気持ちを十分に考慮して使わせていただきたいと思います。ご支援・ご賛同のほどよろしくお願い申し上げます。



What we do

当法人のトピックス

2025年4月～2026年3月

TAVI1000症例 2025年5月20日



2010 年から臨床試験の治験施設として開始した経カテーテル大動脈弁置換術「TAVI」の累計施行件数が 1,000 件に到達しました。合併症として挙げられる脳梗塞を予防するデバイスも2025年2月に導入しました。

倉敷市と災害時の医療的ケアが必要な避難者支援の協定締結 2025年8月28日



2018 年 7 月の豪雨災害の経験を踏まえ、特に「人工呼吸器などの医療機器を使用しての生命維持を必要とする方々」の避難支援を目的とした協定が結ばれ、8 月 28 日に倉敷市役所で締結式が執行されました。

総合周産期母子医療センター 開設25年 2025年12月1日



当院は 2000 年 12 月 1 日、岡山県内で初めて「総合周産期母子医療センター」に指定されました。多職種が連携し、十分成長できず小さな体で生まれたり、生まれつき心臓などに疾患があったりする赤ちゃんと母体の救命に尽くしています。

一青苺さんによる特別ライブを小児病棟プレイルームで開催 2026年1月24日



写真撮影 / 村上 健

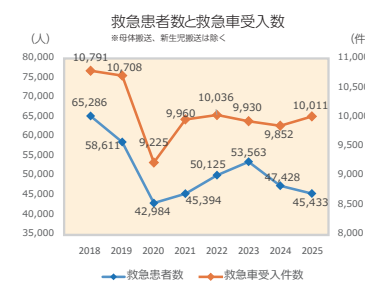
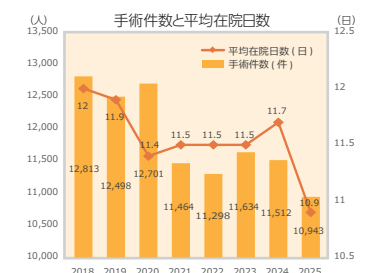


results

診療実績

—倉敷中央病院2025年度

- 入院延患者数 333,587人
(1日平均 914人)
- 外来延患者数 610,451人
(1日平均 2,471人)



ご厚志をかたちに —2025年度の基金活用実績より

小児がんの子どもを対象にビーズ・オブ・カレッジ (Beads of Courage®) 導入

2025 年度から小児科病棟で「倉敷中央病院」にアート介入療法「ビーズ・オブ・カレッジ (アメリカ発の心のケアプログラム)」を導入しました。このプログラムは、小児がんや重い病気の子どもたちが、勇気を出して治療を乗り越えた経験を多彩なガラスビーズで記録していくものです。プロセス(治療)ビーズは白が化学療法、黒が穿刺、星型が手術など色分けされており、「病名告知」「骨髄移植」など節目に受け取る特別ビーズもあります。

子どもたちにビーズを渡すのは、研修を受けた医師や看護師、心理士、保育士などのビーズ大使です。子どもたちは初めにビーズを通す長いひもを受け取り、自分の名前やアルファベットのビーズを通します。この時受け取る「ビーズ日記」に受けた処置や症状を毎日記録し、週1回程度、ビーズ大使と一緒に日記の内容を振り返りながらビーズをつないでいきます。ビーズを繋ぐことを通して、自分が乗り越えてきた治療を振り返り、勇気や希望を実感し、自分の人生に自信を持ち、自己肯定感を高めます。自分に起きていることを可視化することで、客観的にとらえ周囲の人にも説明ができるようになります。ビーズの総数は多い子で 1,000 個を超えます。

2026 年 7 月 1 日までに外来含め 19 名の子どもたちがプログラムを開始し、31 名のビーズ大使が寄り添っています。



小児看護専門看護師から皆様へ

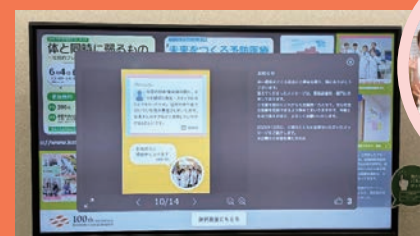
Beads of Courage® は埋もれてしまいがちな日々の頑張りが勇気を可視化できるツールです。実施してみると、ビーズの多さに子どももご家族も「こんなに頑張ったんだ」とびっくりしながらも、誇らしげな表情を見せてくれます。私たちにとてもビーズをつなぐ時間は、子どもたちの気持ちを聴く大切なひとときになっています。温かいお心遣いにより導入させていただけたことを感謝いたします。

お気持ちに感謝申し上げます

ご寄付とともに頂戴したメッセージは、ご寄付者さまに関連のある診療科や病棟、部署へも届けています。温かいお言葉が、職員にとって大変励みになっております。2025 年 12 月から、メッセージを受け取った職員たちの写真を添えた感謝の掲示を行っています。当院 1 棟 1 階経理課の掲示版や IDEA のデジタルサイネージ、寄付ご案内ホームページで公開しています。



経理課 (入院会計) 掲示版



時空回廊 IDEA デジタルサイネージ



WEBで公開中です

